

平成 28 年度

事 業 計 画 書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 全日本銃剣道連盟

## I. 基本方針及び重視事項

### 1. 基本方針

公益社団法人全日本銃剣道連盟（以下全銃剣連という）は、スポーツ基本法、武道憲章及び銃剣道修行の指標に則り、銃剣道・短剣道（以下銃・短剣道という）の普及振興を図る事業を行い、国民の体力向上と健全な人間形成に寄与する。

### 2. 重視事項

#### （1）会員数の増大

- ・会員数の減少は、全銃剣連存亡の危機であることを認識し、会員数増大の3本柱（新規加入者獲得、会員メリットの提供、会員の掘り起こし）を全銃剣連上げて推進する。
- ・新規加入者獲得においては、青少年・女性への拡大の他、自衛隊基本教育における銃・短剣道の実施を奨励する。この際、出前研修会、出張昇段審査等の実施に着意する。
- ・会員メリットの提供においては、初心者から熟練者・高齢者までの会員が充実感を味わうことができる機会の提供を主眼に、称号・段位・審判資格の受審、研修会・稽古会への参加、地方大会における新人戦や高齢者部門の設置等を重視する。
- ・会員の掘り起こしにおいては、元会員の再入会奨励を主眼に、OB会等における勧誘、稽古会・教室・道場への勧誘、地方大会における高齢者部門の設置、賛助会員への勧誘を重視する。
- ・会員獲得にあたっては、会員該当者の所属先における銃・短剣道の立場を充分に理解・認識し、謙虚に節度をもって信頼関係を構築した上で、銃・短剣道の目的（指導の指標）、全銃剣連・各都道府県連の使命や施策、会員のメリットなどを誠実・丁寧かつ粘り強く説明し、武道としての銃・短剣道について理解を深めつつ入会勧誘活動を継続する。

#### （2）銃・短剣道に関する指導者及び審判の育成

- ・指導者及び審判の育成は、銃・短剣道の現在及び将来の命運を担う基幹となる人材を育成する重要な事業であり、都道府県連盟の現状を認識しつつ長期的視野に立って育成努力を継続する。この際、研修会への参加、高段位・称号の受審による指導能力及び審判能力の向上と人格の陶冶を重視する。
- ・本年度は、受講者や受審者の参加奨励のため、昨年度に引き続き銃剣道・短剣道青少年指導者講習会（5月）に高段者研修会を統合するとともに、A級審判員審査会時（1月）に8段審査会を開催する。

#### （3）青少年の育成強化

- ・青少年の育成強化は、青少年の人格形成という社会貢献に寄与するとともに、銃・短剣道会員の裾野拡大及び将来要員の育成のため極めて重要な事項であり、青少年育成拠点の増加、青少年指導者の育成、全日本競技大会への参加奨励を重視する。
- ・青少年育成拠点の増加については、クラブ・道場・教室・スポーツ少年団の増加を引き続き努力するとともに、学校開放や自衛隊駐屯地体育館等の活用を図る。

- ・青少年指導者の育成においては、学校教員銃剣道指導者の育成、および地域指導者の青少年指導能力の向上を重視する。
- ・全日本競技大会への参加奨励については、全日本少年少女武道（銃剣道）錬成大会、全国高校生銃剣道大会、全国都道府県対抗銃剣道大会を重視する。この際、青少年剣士の人生における全国大会参加の意義を理解し、選手が参加資格保有間に一度は参加できるよう努力を図る。

#### （4）中学校武道必修化への銃剣道参入施策の推進

- ・中学校における銃剣道の授業化は、銃・短剣道が現代武道として存立する証である。27年度は、1校の実現を果たすことができたが、今後もあらゆる困難を克服して、授業の実現・継続・拡大の全段階について努力を継続する。このため、指導者の育成、学校等への説明努力の継続、授業実施基盤の整備を重視する。
- ・指導者の育成については、中学校保健体育科教員の銃剣道指導能力の育成・向上を中心に、他教科教員の育成、地域指導者の中学校授業指導能力の向上に努める。このため第3回全国銃剣道指導者研修会（11月）への参加を奨励する。
- ・学校等への説明努力の継続においては、都道府県連盟による説明の継続努力、模擬授業の実施・継続とともに、全銃剣連による文科省等への働きかけにより新規の実現努力を継続する。
- ・授業実施基盤の整備においては、授業化実現校への用具等支援、表彰等を計画するとともに、文科省に対して複数授業化の推進要望、学習指導要領における銃剣道の地付けの明確化努力等を重視する。

#### （5）全国都道府県対抗銃剣道大会の開催

- ・本大会は、銃剣道の国体隔年実施競技化により生じた大会であり、その目的は銃剣道に関する競技力の向上である。また銃剣道の国体毎年実施競技復活への全銃剣連としての意思表示でもある。
- ・本年度は、大会目的および狙いの都道府県連盟への徹底と少年種別への参加奨励を重視する。

#### （6）連盟創立 60 周年記念事業の実施

- ・創立 60 周年記念事業を実施して銃・短剣道の普及・振興の推進に寄与するとともに、連盟の更なる発展を期する。
- ・このため、事業実施要項に基づき、基本問題に関する検討、記念大会、記念式典、表彰、祝賀会食、記念品、記念誌の発行、特授、優勝杯の購入等の事業を実施する。事業は寄付金により実施するとともに、他の資金と明確に区分して運用する。

#### （7）全銃剣連財政健全化確保施策の推進

- ・将来にわたり全銃剣連財政基盤の健全化を確保するため、従来からの経費節減策を継続するとともに、平成 28 年度から審査料・登録料等を値上げする。

## II. 事業内容

### 1. 全日本銃剣道選手権大会及びその他の競技大会の開催

以下の大会に「全日本銃剣道連盟創立 60 周年記念」を冠して開催する。

#### (1) 高松宮記念杯争奪第 24 回全日本銃剣道選手権大会

- ・開催年月日：平成 28 年 8 月 5 日（金）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手：64 名を予定
- ・県等で選手を派遣できない場合は、その出場枠を当該ブロックからブロック選出選手として出場させることができる。

#### (2) 第 60 回全日本銃剣道優勝大会

- ・開催年月日：平成 28 年 4 月 17 日（日）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：1,200 名を予定
- ・一般の部及び防衛省 2 部の参加要領について、27 年度と変更して実施する。

#### (3) 第 47 回全日本青年銃剣道大会

- ・開催年月日：平成 28 年 8 月 4 日（木）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：1,400 名を予定

#### (4) 第 28 回全国高校生銃剣道大会

- ・開催年月日：平成 28 年 7 月 23 日（土）
- ・開催場所：宮城県岩沼市総合体育馆
- ・参加選手・監督：400 名を予定

#### (5) 第 16 回全日本短剣道大会

- ・開催年月日：平成 29 年 2 月 12 日（日）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：450 名を予定

#### (6) 平成 28 年度全日本少年少女武道（銃剣道）錬成大会

- ・開催年月日：平成 28 年 8 月 3 日（水）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：350 名を予定

#### (7) 平成 28 年度全国都道府県対抗銃剣道大会

- ・開催年月日：平成 28 年 9 月 24 日（土）
- ・開催場所：日本武道館
- ・参加選手・監督：376 名を予定
- ・役員数：80 名を予定

## ※競技大会参加者等の要件

- ・競技大会に出場する選手・監督・コーチは、平成 27 年度の連盟会員であり当該年度の会費を完納した者に限る。ただし、高校生以下の選手は除く。
- ・競技大会の競技種目別に参加するチームの監督・コーチは、日本体育協会公認スポーツ（銃剣道）指導員以上の有資格者とする。
- ・競技大会の試合場主任は、名誉審判員とする。

## 2. 銃剣道及び短剣道に関する調査、研究及び教則の制定と競技規則・審判規則の統一。講習会・研修会の開催と指導員・審査員の派遣

### (1) 銃剣道・短剣道青少年指導者講習会

- ・目的：日本武道館との共催により講習会を開催し、青少年指導者及び高段保有者等の銃・短剣道に関する識見、指導能力及び技倆の向上を図る。
- ・開催時期：平成 28 年 5 月 13 日（金）～15 日（日）
- ・開催場所：日本武道館研修センター

### (2) A級審判員研修会

- ・目的：A級審判員資格保有者及び同受審資格者に対し研修会を開催し、審判理論の精通及び審判技術の向上を図るとともに、A級審判員としての権威と資質を養成する。
- ・開催時期：平成 29 年 1 月 27 日（金）～28 日（土）
- ・開催場所：日本武道館研修センター

### (3) ブロック研修会

- ・目的：全国の銃・短剣道及び審判法に関する知識・技能の均衡的発展を図るため、ブロックごとの研修会を実施する。
- ・日程・内容等：各ブロックの計画による。高段者（6・7 段対象）の段位審査は研修会最終日又は研修会翌日に行う。

### (4) 第 3 回全国銃剣道指導者研修会

- ・目的：日本武道館との共催により研修会を開催し、学校教員への銃剣道指導能力の普及を図るとともに、外部指導者候補者（女子含む）、ブロック指導員の技倆及び指導能力の向上等、銃・短剣道に関する指導者の能力向上と幅広い分野への指導者拡大を図る。
- ・参加対象：学校教員、各地域外部指導者候補者（女子指導者含む）、ブロック指導員等
- ・開催時期：平成 28 年 11 月 11 日（金）～13 日（日）
- ・開催場所：日本武道館研修センター

### (5) 国内強化合宿事業

- ・目的：JOC（日本オリンピック委員会）より補助金を受けて開催し、高校生・中学生等の銃・短剣道に関する技倆を向上させ、心身とも健全な人材育成を図る。
- ・開催時期・場所：各ブロック等の計画による。

## (6) (公財) 日本体育協会公認銃剣道指導者養成講習会

- ・目的：日本体育協会公認の上級スポーツ指導員（銃剣道）受験資格者及び公認スポーツ指導員（銃剣道）受験資格者に対し銃剣道に関する講習会を実施し、資格の取得更新に寄与する。
- ・公認上級スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会（30時間）
  - 平成28年12月、日本武道館研修センター
- ・公認スポーツ指導員銃剣道専門科目講習会（40時間）
  - 第1回：平成28年10月28日（金）～31日（月）、鳥取県立武道館
  - 第2回：平成28年11月20日（日）～23日（水）、自衛隊体育学校（埼玉県）
  - その他：受講者希望者が20名以上の場合に開催する。実施時期・場所は別途通知する。

## (7) 指導員派遣事業

- ・全銃剣連が主催する研修会・講習会に対しては、ブロック指導員を派遣する。
- ・日本武道館及び全国都道府県立武道館協議会加盟武道館と共に地方青少年武道（銃剣道）錬成大会に対しては、全銃剣連が指定したブロック指導員2名を派遣する。
- ・ブロック及び県連盟等が研修会を計画し指導員等の派遣を必要とする場合及び県教育委員会等から強化指定校の指導員の派遣を要請された場合は、指定講師を派遣するよう努力する。

## (8) 国際交流事業

- ・日本武道協議会が計画する日本武道代表団への会員派遣、国際武道セミナーへの参加等の他、海外に対する銃・短剣道紹介活動を積極的に推進する。

## (9) 銃剣道・短剣道に関する調査、研究

- ・競技力向上委員会により、銃・短剣道に関する基本問題の研究、競技力を高めるための応用技の研究、女性に対する教育指導・健康指導・護身的要素の指導、年齢別・性別ごとの身体トレーニング法の実践等について調査、研究を継続して行う。
- ・中学校武道必修化に対応した指導教本の作成、教員・外部指導員の養成、参考資料、DVD、用具、教材等の研究を継続的に行う。
- ・ドーピング防止委員会、医学・安全委員会により、ドーピング防止活動及び医学・安全活動に関する資料収集を行い、ガイドライン・マニュアル等の作成や啓発教育等に関する調査研究を行う。
- ・競技力向上委員会を主体に、銃・短剣道教則改正に関する調査・研究を行う。
- ・創立60周年記念事業実施要項に基づき、基本問題に関する検討、記念大会、記念式典、表彰、祝賀会食、記念品、記念誌発行、特授、優勝杯購入等を実施する。

## 3. 銃剣道及び短剣道の技倆に関する資格認定及び称号段位の付与

### (1) 段位審査会

#### ア. 8段審査会

- ・全銃剣連が主催し、会長が指名する審査員11名で構成、有資格者の理論・実技を審査する。
- ・中央開催：平成29年1月29日（日）午後、日本武道館研修センター
- ・地方開催：開催希望ブロックが定める日時・場所

イ. 6段7段審査会

- ・全銃剣連が主催し、全銃剣連派遣の審査員1～2名とブロック選定の審査員5～6名で構成
- ・開催時期・場所：各ブロック研修会翌日または最終日、研修会開催場所にて開催

ウ. 5段以下審査会

- ・各都道府県連盟が実施する。

(2) 称号審査会

ア. 範士称号審査会

- ・審査会の構成：称号・段位審査規則第4条（審査会の種類と構成）第2項により構成する。
- ・開催時期：平成28年12月17日（土）、平成28年度第2回通常理事会開催前
- ・開催場所：パールホテル両国

イ. 教士・鍊士称号審査会

称号・段位審査規則第4条（審査会の種類と構成）第3項により構成し、実施する。

(3) 指定審判員審査会

ア. A級審判員審査会

- ・主催及び構成：全銃剣連が主催し、会長が指名する審査員11名以上で構成
- ・開催時期：平成29年1月29日（日）午前
- ・開催場所：日本武道館研修センター

イ. B級審判員審査会

- ・主催：全銃剣連
- ・構成：全銃剣連派遣審査員1～2名とブロック選定審査員5～6名で構成
- ・開催時期：各ブロック審判研修会時に1日の日程で年間9回開催する。

ウ. C級審判員審査会

- ・各都道府県連盟が実施する。

エ. 名誉審判員認定審査

- ・指定審判員規則第14条に則り、全銃剣連が実施する。

(4) 段位特別審議会

- ・9段・10段審議会は、称号段位審査規則第9条に則り、全銃剣連が実施する。

4. 機関誌の発行・銃剣道等に関する図書の出版

(1) 機関誌「剣の心」第63号の発行

- ・目的：銃・短剣道に関する情報交換・紹介等により、会員の相互親睦及び修行の資とするとともに、銃・短剣道普及振興を図る。
- ・発行時期：平成29年3月

(2) 銃・短剣道に関する図書の出版

- ・銃剣道教則の販売
- ・銃剣道試合・審判規則及び細則の販売
- ・短剣道教則の販売
- ・短剣道試合・審判規則及び細則の販売
- ・ジュニア指導者の手引きの販売
- ・銃剣道DVDの販売

## 5. 功労者の表彰

### (1) 全銃剣連の行う表彰

「表彰及び感謝状の授与に関する規則」及び「表彰等規則の施行に関する細則」に則り、功労のあった団体・個人に対して審査のうえ以下の表彰、褒章又は感謝状を授与する。

- ・優良都道府県連盟表彰
- ・特別功労章
- ・功労章
- ・優良団体表彰
- ・感謝状

### (2) 全銃剣連以外の団体等が行う表彰への推薦

- ・日本武道協議会が行う武道功労者・武道優良団体表彰及び武道少年優良団体の表彰について、候補者を審査のうえそれぞれ表彰候補者を推薦する。
- ・公共団体及び報道機関等からの表彰の推薦依頼があった場合は、全銃剣連で審議したうえで表彰候補者を推薦することがある。

## III. その他

### 1. 会議等

- |                       |                       |    |           |
|-----------------------|-----------------------|----|-----------|
| ・平成 28 年度第 1 回通常理事会   | ：平成 28 年 5 月 16 日(月)  | 午前 | パールホテル両国  |
| ・平成 28 年度定時社員総会       | ：平成 28 年 5 月 31 日(火)  | 午後 | ベルサール九段   |
| ・平成 28 年度第 2 回通常理事会   | ：平成 28 年 12 月 17 日(土) | 午後 | パールホテル両国  |
| ・平成 28 年度都道府県連盟事務局長会同 | ：平成 29 年 1 月 14 日(土)  |    | パールホテル茅場町 |
| ・平成 28 年度第 3 回通常理事会   | ：平成 29 年 3 月 17 日(金)  | 午後 | パールホテル両国  |

### 2. 委員会

#### (1) 競技力向上委員会

- ・5 月及び適宜の時期に開催する。

#### (2) ドーピング防止委員会

- ・10 月及び適宜の時期に開催する。

#### (3) 医学・安全委員会

- ・10 月及び適宜の時期に開催する。

#### (4) 倫理委員会

- ・必要により開催する。

### 3. 規則等の改正

- ・適宜改正する。

### 4. 報告等

- ・各県連等の年度別事業報告書・収支決算報告書を平成 28 年 6 月末日までに全銃剣連に提出するものとする。

添付書類：平成 28 年度主要行事予定表

## 平成28年度 主要行事予定表

H28.3.18現在

月	日	主要行事名	場所
4月	17(日)	第60回全日本銃剣道優勝大会	日本武道館
5月	13(金)～15(日)	銃剣道・短剣道青少年指導者講習会 ＜(公財)日本武道館共催＞	日本武道館研修センター
	15(日)	平成28年度第1回競技力向上委員会	日本武道館研修センター
	16(月)	平成28年度第1回通常理事会	パールホテル両国
	18(水)～21(土)	中国・四国地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	島根県立浜山体育館
	28(土)～29(日)	関東地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	神奈川県立武道館
	31(火)	平成28年度定時社員総会	ベルサール九段
6月	3(金)～6(日)	北海道地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	北海道・旭川駐屯地体育館
	16(木)～19(日)	東北地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	秋田県・秋田駐屯地体育館
	17(金)～19(日)	北信越地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	長野県・松本市
	24(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・鍊士)	全日本銃剣道連盟事務局
	25(土)～26(日)	東北地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	秋田県・にかほ市象潟体育館
7月	16(土)～18(月)	中国地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	鳥取県立武道館
	16(土)～18(月)	四国地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	愛媛県武道館
	23(土)	第28回全国高校生銃剣道大会 <岩沼市共催>	宮城県・岩沼市総合体育館
8月	3(水)	平成28年度全日本少年少女武道(銃剣道)錬成大会 ＜(公財)日本武道館共催＞	日本武道館
	4(木)	第47回全日本青年銃剣道大会	日本武道館
	5(金)	高松宮記念杯争奪 第24回全日本銃剣道選手権大会	日本武道館
	20(土)～21(日)	北信越地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	福井県立武道館
	20(土)～22(月)	九州地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	福岡県・アクシオン福岡
9月	24(土)	平成28年度全国都道府県対抗銃剣道大会	日本武道館
	24(土)	連盟創立60周年記念式典・祝賀パーティー	ホテルグランドパレス
	30(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・鍊士)	全日本銃剣道連盟事務局
10月	7(金)～10(月)	九州地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	長崎県・諫早市飯盛体育館
	8(土)～9(日)	北海道地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	大雪青少年交流の家
	15(土)～18(火)	北海道地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	北海道・東千歳駐屯地体育館
	20(木)～23(日)	近畿地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	滋賀県・今津駐屯地体育館
	22(土)～23(日)	近畿地方青少年武道(銃剣道)錬成大会	和歌山県立武道館
	28(金)～31(月)	日体協公認銃剣道指導者養成講習会	鳥取県立武道館
	未定	ドーピング防止委員会 医学・安全委員会	全日本銃剣道連盟事務局

月	日	主 要 行 事 名	場 所
11月	11(金)～13(日)	第3回全国銃剣道指導者研修会<(公財)日本武道館共催>	日本武道館研修センター
	13(日)	平成28年度第2回競技力向上委員会	日本武道館研修センター
	20(日)～23(水)	日体協公認銃剣道指導者養成講習会	埼玉県・自衛隊体育学校
	25(金)～27(日)	関東地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	千葉県・下志津駐屯地体育館
12月	2(金)～4(日)	東海地区銃・短剣道・審判研修会、高段審査会	静岡県・滝ヶ原駐屯地体育館
	9(金)～11(日)	平成28年度中学校武道授業(銃剣道)研究事業 <(公財)日本武道館共催>	日本武道館研修センター
	16(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・鍊士)	全日本銃剣道連盟事務局
	17(土)	平成28年度第2回通常理事会 範士称号審査会	パールホテル両国
1月	14(土)	平成28年度都道府県連盟事務局長会同	パールホテル茅場町
	27(金)～28(土)	A級審判員研修会	日本武道館研修センター
	29(日)	A級審判員審査会 銃剣道・短剣道8段審査会	日本武道館研修センター
2月	12(日)	第16回全日本短剣道大会	日本武道館
	24(金)	銃剣道・短剣道称号審査会(教士・鍊士)	全日本銃剣道連盟事務局
3月	17(金)	平成28年度第3回通常理事会	パールホテル両国